

平成25年度 第1回図書館協力員研修会報告

寺田幸子

- 1 日時 平成25年10月17日(金)
- 2 研修内容 千葉県市川市立中央図書館等見学
先ず、図書館に隣接している、千葉県立現代産業科学館を見学した。
その後、市川市立中央図書館を訪問した。
図書館ボランティア「市川図書館友の会」の方々に案内して頂いて、館内を見学し、また、「市川図書館友の会」の代表の方々との懇談で、図書館への協力の仕方について研修した。
- 3 参加者 浅川、石川、大橋、数野、桑原、甲田、斉藤、佐藤、高木、田中、内藤、中澤、古屋、穂坂、堀、松田、三井、山縣、山下、横内、寺田
(計21名、敬称略)
- 事務局(柳本)

4 感想

参加者21名のうち、19名から感想が提出された。

多くの会員が今回の研修を非常に有意義なものであったと感想を述べるとともに、研修できたことに対して感謝を述べていた。

- 現代産業科学館は電力、石油、鉄鋼産業の歴史や先端技術の紹介や、参加・体験型の展示など、実に興味深いものであった。時間の関係で、駆け足で回ったが、時間があつたなら、もっとゆっくり見学したい、楽しい科学館である。
- 平成6年11月に新築された市川市立中央図書館は、建物も立派で蔵書冊数も山梨県立図書館を上回る、規模の大きなものである。そこに、空席がほとんど無いくらい多くの人たちが利用しているにも拘わらず、静かな落ち着いた雰囲気が保たれていた。その中で、「友の会」の方々は、責任感溢れる感じで、意欲的に自分の役目を果していた。
- 図書館では「市川図書館友の会」の代表の方々と懇談し、図書館への協力の仕方についてお話を伺った。長い歴史もある「友の会」の協力の仕方は、会員個人の主体性に任せられたものであり、自分の意志でいつでも自由に活動に参加して行うというものである。本協力会の組織的な協力と比べると大きく異なっており、このような協力の仕方もあることを知った。活動に参加する個々の意欲や熱心さについても大いに学ぶべきものがあり、有意義な研修であった。

※ 研修前日は、台風26号に襲われた伊豆大島で、多くの方が亡くなられたり行方不明となりましたが、当日は台風一過、穏やかな天気の中、バスで市川市に向かいました。

この研修会に参加予定であった野口さんは、その前の週に急逝されました。野口さんには役員もされておりましたが、夕方まで図書館でお手伝いされていたとのことでした。

御冥福をお祈りしながら、明日をも知れぬ命の儚さと尊さを思い、だからこそ、今できることをしなければ申し訳ないような思いで参加させていただきました。

いつもは分野ごとの活動で顔を合わせることも少ない会員同士、共に研修させて頂き、言葉を交わす機会も得ました。感謝申し上げます。